禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B68

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 防水施工 学科試験問題
(ウレタンゴム系塗膜防水工事作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　鉄骨工事は、建築物の躯体工事に含まれない。

2　コンクリートは、セメント、粗骨材、細骨材、水等を練り混ぜて作られる。

3　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次は、普通ブロック壁を表す材料構造表示記号である。



4　建築基準法関係法令によれば、れんがは、耐水材料に含まれる。

5　労働安全衛生法関係法令によれば、玉掛けの業務に係る技能講習を修了した者は、つり上げ荷重が1トン以上の移動式クレーンの玉掛けの業務を行うことができる。

6　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、ウレタンゴム系塗膜防水材のかくはんには、回転速度ができるだけ速い電動かくはん機を使用するとよい。

7　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、タール系塗料が塗装されているルーフドレンに防水層を施工する場合、タール系塗料は、取り除かなくてもよい。

8　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、ウレタンゴム系塗膜防水材を均一に塗布するには、所定量の防水材を1回で厚塗りするよりも数回に分けて塗る方がよい。

9　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、気温が5°C未満の場合は、施工を避けた方がよい。

10　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、ウレタンゴム系塗膜防水材を希釈する場合、希釈剤の量は、防水材に対し5%以内である。

11　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、下地の出隅は、補強布張りを行うとよい。

12　ウレタンゴム系塗膜防水工事における絶縁工法(通気緩衝工法)において、脱気装置は、一般に、水上よりも水下に設置する場合が多い。

13　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、不織布タイプの通気緩衝シートは、プライマーで張り付ける。

14　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、塗布したウレタンゴム系塗膜防水材の塗膜にピンホールが生じても、その上に再度、ウレタンゴム系塗膜防水材を厚塗りすれば、ピンホールを消すことができる。

［A群（真偽法）］

15　ウレタンゴム系塗膜防水において、密閉した室内での防水工事には、有機溶剤タイプのプライマーが適している。

16　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、プライマーの塗布は、施工の当日にウレタンゴム系塗膜防水材を塗布する範囲まで行う。

17　既存のウレタンゴム系塗膜防水層の改修工事においては、既存防水層の表面を清掃し、層間接着用プライマーを塗布した後、ウレタンゴム系塗膜防水材を塗り重ねることができる。

18　ウレタンゴム系の超速硬化吹付け工法では、施工部だけでなく周辺の養生も必要である。

19　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、防水層施工直後に防水層の上へ物を置く場合は、養生シートを使用するとよい。

20　PCa(プレキャスト鉄筋コンクリート部材)は、多孔質化させた原料をオートクレーブ養生して得られる。

21　PCa(プレキャスト鉄筋コンクリート部材)下地は、複雑な勾配が取りにくい。

22　鉄筋コンクリート造において、ルーフドレンは、型枠に先付けしてコンクリートを打設するとよい。

23　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、下地処理用のシーリング材には、一般に、ポリウレタン系のものを使用する。

24　ウレタンゴム系塗膜防水層の仕上げ塗料は、定期的に塗り替える必要がある。

25　塩化ビニル樹脂系シート防水工事において、シート相互は、溶着により接合することができる。

［B群（多肢択一法）］

1　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

SRC造は、(　　)の略称である。

イ　木造

ロ　鉄骨造

ハ　鉄筋コンクリート造

ニ　鉄骨鉄筋コンクリート造

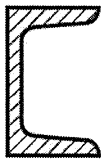
2　日本産業規格(JIS)によれば、下図の形状の断面をもつ形鋼の名称として、正しいものはどれか。

イ　山形鋼

ロ　I形鋼

ハ　溝形鋼

ニ　H形鋼



3　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、引違い戸を表す平面表示記号はどれか。



イ　　ロ　　ハ　　ニ

4　建築基準法関係法令によれば、不燃材料に含まれないものはどれか。

イ　モルタル

ロ　アルミニウム

ハ　木毛セメント板

ニ　陶磁器質タイル

5　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、事業者は、(　　)m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないとされている。

イ　1

ロ　3

ハ　5

ニ　7

6　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、ウレタンゴム系塗膜防水材を大面積の平場に塗布する工具として、適切なものはどれか。

イ　スクイジー

ロ　スイーパー

ハ　金ごて

ニ　ゴムべら

［B群（多肢択一法）］

7　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、脱気装置の取付けに使用する材料として、適切なものはどれか。

イ　接着剤
ロ　両面テープ
ハ　立上り用ウレタンゴム系塗膜防水材
ニ　アンカービス又はアンカーピン

8　押えコンクリートの上にウレタンゴム系塗膜防水工事を密着工法で改修する場合、伸縮目地に充填する材料として、適切なものはどれか。

イ　モルタル
ロ　砂
ハ　ゴムアスファルト系シール材
ニ　ポリウレタン系シーリング材

9　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、自着タイプの通気緩衝シートを使用する場合の施工順序として、適切なものはどれか。

イ　プライマー塗布 → 通気緩衝シート張り → ジョイントテープ張り → シート端末処理
ロ　プライマー塗布 → ジョイントテープ張り → 通気緩衝シート張り → シート端末処理
ハ　ジョイントテープ張り → プライマー塗布 → 通気緩衝シート張り → シート端末処理
ニ　ジョイントテープ張り → プライマー塗布 → シート端末処理 → 通気緩衝シート張り

10　文中の(　　)内に当てはまる語句と数値の組合せとして、適切なものはどれか。

ウレタンゴム系塗膜防水工事において、2成分形ウレタンゴム系塗膜防水材の主剤と硬化剤をかくはんする場合、かくはん容器は、底部が(①)のものが適しており、かくはん時間は、(②)分以上行うとよい。

	①	②
イ	角形	1
ロ	角形	3
ハ	円形	1
ニ	円形	3

11　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、ウレタンゴム系塗膜防水工事において、ウレタンゴム系塗膜防水材の塗継ぎの幅は、(　　)mm程度とする。

イ　30
ロ　50
ハ　100
ニ　150

［B群（多肢択一法）］

12　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、ウレタンゴム系塗膜防水工事における補強布の重ね幅は、(　　)mm程度である。

イ　30
ロ　50
ハ　70
ニ　100

13　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

公共建築工事標準仕様書によれば、ウレタンゴム系塗膜防水工事において、通気緩衝シート張りを行う工法の種別は、(　　)である。

イ　X－1
ロ　X－2
ハ　Y－1
ニ　Y－2

14　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、防水層にクレーターが生じた場合の対処方法として、適切なものはどれか。

イ　そのまま次の工程に移る。
ロ　クレーターに立上り用ウレタンゴム系塗膜防水材を塗り付ける。
ハ　クレーターにポリマーセメントモルタルを塗り付ける。
ニ　クレーターにエポキシ樹脂系モルタルを塗り付ける。

15　次のうち、ウレタンゴム系塗膜防水層における硬化後の損傷の原因でないものはどれか。

イ　強風による飛来物
ロ　鳥害
ハ　重量物の設置
ニ　落ち葉

16　ウレタンゴム系塗膜防水工事(密着工法)において、一般に、適用されない下地はどれか。

イ　現場打ちコンクリート
ロ　モルタル
ハ　PCa(プレキャスト鉄筋コンクリート部材)
ニ　ALCパネル

［B群（多肢択一法）］

17　ウレタンゴム系塗膜防水工事において、完全硬化した防水層の上にやむを得ず重量物を置く場合、養生用シートの上に使用する材料として、適切なものはどれか。

イ　ブロック
ロ　新聞紙
ハ　ゴムマット
ニ　鉄板

18　ウレタンゴム系塗膜防水層の仕上塗料として、適切でないものはどれか。

イ　エポキシ系
ロ　アクリルシリコーン系
ハ　ふっ素樹脂系
ニ　アクリルウレタン系

19　ウレタンゴム系塗膜防水工事における養生に関する一般的な記述として、適切でないものはどれか。

イ　防水層の品質を確保する意味で関係者以外の立ち入りを禁止する。
ロ　防水材の混合・かくはんを行う場所について、施工範囲外であれば養生しなくてもよい。
ハ　ルーフドレン回りは、防水材が養生を乗り越えて流れ込まないような養生を行う必要がある。
ニ　養生テープには、布粘着テープが適している。

20　ウレタンゴム系塗膜防水工事におけるコンクリート下地の条件として、適切でないものはどれか。

イ　油分が付着していない。
ロ　表面にレイタンスがある。
ハ　表面に凹凸がない。
ニ　所定の勾配がとれている。

21　ウレタンゴム系塗膜防水工事におけるウレタンゴム系の塗膜防水材の種類とその用途の組合せとして、適切でないものはどれか。

種類　　用途

イ　平場用・・・・平場への塗布
ロ　立上り用・・・補強布の張付け
ハ　共用・・・・・側溝部への塗布
ニ　平場用・・・・パラペット天端への塗布

［B群（多肢択一法）］

22　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

ウレタンゴム系塗膜防水工事において、立上りに硬化物比重が1.2のウレタンゴム系塗膜防水材を使用して厚さ2mmの防水層を施工する場合、１m²当たりの防水材の使用量は、(　　)kgである。

イ　2.0
ロ　2.4
ハ　2.6
ニ　2.8

23　ウレタンゴム系塗膜防水材に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　可使時間とは、2成分形ウレタンゴム系塗膜防水材の主剤と硬化剤を混合してから塗布作業が可能な時間をいう。
ロ　指触乾燥(タックフリー)時間とは、ウレタンゴム系塗膜防水材の塗布後、塗膜の硬化が進み、指先で触れても防水材が指に付かなくなるまでの時間をいう。
ハ　硬化時間とは、2成分形ウレタンゴム系塗膜防水材の主剤と硬化剤を混合してから防水材が硬化するまでの時間をいう。
ニ　オープンタイムとは、2成分形ウレタンゴム系塗膜防水材の主剤と硬化剤のかくはんに必要な時間をいう。

24　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

シーリング防水工事におけるバックアップ材の使用目的には、シーリング材の充填する(①)を調整することや(②)を確保することがある。

　　①　　②
イ　目地幅・・・・2面接着
ロ　目地幅・・・・3面接着
ハ　目地深さ・・・2面接着
ニ　目地深さ・・・3面接着

25　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、アスファルト防水工事(絶縁露出仕様)で、最上層に用いられるルーフィングはどれか。

イ　砂付あなあきルーフィング
ロ　ストレッチルーフィング
ハ　砂付ストレッチルーフィング
ニ　アスファルトルーフィング